

G 研究発表

1. 論文・著書

1. 宇田 淳, 宇都 由美子, 中川 肇, 白鳥 義宗, 梅里 良正, 宮本 正喜, 笥 淳夫, 岡田 美保子: 医療におけるCIO(Chief Information Officer); 医療情報学 34 回連合大会論文集: 54-57, 2014.
2. 村上 裕一, 長山 貴紀, 本庄 秀行, 平松 治彦, 宮本 正喜: 病院職員間のカルテ情報への不正アクセス防止システムの開発とその効果; 医療情報学 34回連合大会論文集: 260-261, 2014.
3. 糸川 雅子, 高橋 翼, 長山 貴紀, 下村 修, 松本 尚宏, 平松 治彦, 宮本 正喜: 看護業務用スマートフォンのテキストメッセージ機能の開発と有効性の検証; 医療情報学34回連合大会論文集: 622-623, 2014.
4. 平松 治彦 高橋 翼 長山 貴紀 下村 修 村上 裕一 本庄 秀行 宮本 正喜システム停止時のデータ入力を目的としたバックアップ手法の検討; 医療情報学34回連合大会論文集: 692-693, 2014.
5. 長山賢紀, 村上裕一, 平松治彦, 宮本正喜: 病院情報システムの段階的な更新による成果と問題点; 医療情報学 33 回連合大会論文集: 768-769, 2013.
6. 加藤泰史, 池見篤志, 小笠原将文, 村上香奈, 大村雅巳, 長山貴紀, 村上裕一, 平松治彦, 宮本正喜: 病棟業務におけるスマートフォン活用の実例と課題; 医療情報学 33 回連合大会論文集: 580-582, 2013.
7. 糸川雅子, 平松治彦, 宮本正喜, 本庄秀行: 電子カルテシステムとの連携を強化した重症部門システムの構築と課題; 医療情報学 33 回連合大会論文集: 440-441, 2013.
8. 平松治彦, 下村修, 高橋翼, 宮本正喜: 病院内電話網の IP 化による音声通話環境の構築; 医療情報学 33 回連合大会論文集: 228-229, 2013.
9. 宮本正喜: 医療情報システム、過去の夢と未来への夢; 医療情報学 33 回連合大会論文集: 2-3, 2013.

10. 宮本正喜, 足立光平, 川島龍一, 齋藤幸夫, 太田吉夫, 矢野一博, 石川広己: より安全な地域医療情報連携に問われること; 医療情報学 33 回連合大会論文集: 162-163, 2013.

11. 笹井浩介, 仲野俊成, 石井美香, 網屋充世, 宮本正喜: 上部内視鏡における画像診断 e ラーニングの開発; 医療情報学 33 回連合大会論文集: 308-311, 2013.

2. 学会発表

1. 本田耕一郎, 榎田奈美, 寺田英司, 佐藤浩治, 甲斐義啓, 宮本正喜, 難波光義: 電子パスの問題解決に向けたクリニカルパス推進委員会の取り組み: ポスタ; 第 14 回日本クリニカルパス学会学術集会: 2013, 11, 01, 盛岡.

2. 宮本正喜: 阪神医療圏の DPC 上での兵庫医大の立場; 第三回 DPC データから見た兵庫県の急性期医療の実態: 2013, 09, 11, 神戸.

3. 本田耕一郎, 榎田奈美, 寺田英司, 佐藤浩治, 甲斐義啓, 宮本正喜: 電子パスのアウトカム・アセスメントマスタ作成と管理方法について: 日本医療マネジメント学会 第 7 回兵庫支部学術集会: 2013, 03, 10, 加古川.

H 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし



『hAnshinむこねっと』による 地域医療連携・地域包括ケア

兵庫医科大学
医療情報学
宮本 正喜

【兵庫県地域医療再生計画事業の概要】

阪神南圏域において、小児・周産期、救急医療等の総合的な診療機能体制の充実、及び医療人材育成システムの構築のために、全体事業費25億円という計画で認定された。具体的な内容は次のとおり。

- ① 県立尼崎病院と県立塚口病院の統合再編(21億円程度)
 - ② 休日夜間急病診療所等のIT化によるネットワーク構築 (3億円程度)
(医療IT化)
 - * 急病診、病病、病診等の分野にかかわらずIT化の構築
 - ③ 初期救急医療機関と2次輪番病院等の連携支援
* 症例検討会等
 - ④ 地域医療支援病院の連携推進支援
* 県尼、県塚、関労の3病院対象
 - ⑤ 阪神地域救急医療連携協議会等の設置
* 初期～3次、消防等の分野で南北圏域合同協議会
 - ⑥ パンフレット等の配布、広報誌への記載、フォーラムの開催等
- (700万円程度)
(1,300万円程度)

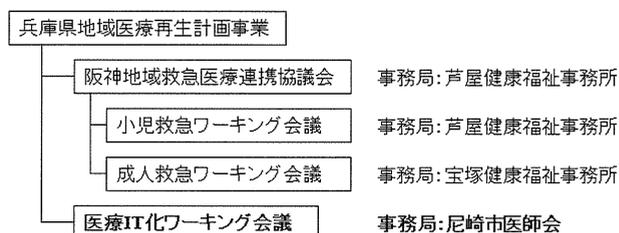
対象期間：平成22年度～平成25年度までの4年間

兵庫県地域医療再生計画事業のうちの医療IT化

「阪神医療福祉情報ネットワーク（h-Anshin むこねっと）」 に対する現在までの経過

平成22年3月、兵庫県健康福祉部健康局医務課の依頼により、兵庫県地域医療再生計画事業の医療IT化に関して、尼崎市医師会で事務局を担う事となる。

平成23年6月に阪神7市医師会・阪神民間病院協会・県立尼崎病院・兵庫医科大学・看護協会の代表者をメンバーとする「医療IT化ワーキング会議」（下図参照）を立ち上げた。



同年より概ね第4木曜日に同会議を開催し種々検討を重ね、平成24年9月に業者選考会を実施し、現在システムの開発中。（業者は富士通㈱に決定）

さらに、恒常的にシステムを継続していくための協議会（阪神医療福祉情報ネットワーク協議会）が平成27年3月14日に立ち上げられた。

3

兵庫県地域医療再生計画事業休日夜間急病診療所等の
IT化によるネットワーク構築事業

阪神医療福祉情報ネットワーク

は ん し ん
h-Anshin むこねっと

4

① 患者情報共有システム

～地域医療連携における患者情報の共有～

- ・ 紹介患者の診療内容等を共有することにより、機能分化した医療機関同士が連携し地域完結型医療を行います。CT・MRI等の画像データの共有、入院中の患者サマリーの共有などにより、病病・病診連携をスムーズかつ活発化し紹介率・逆紹介率のUPが可能となります。
- ・ 同システムの地域連携バスの機能を用いて、がんの地域連携バスや、妊婦・胎児情報の共有を実現。

② 二次救急システム

～リアルタイムな救急医療情報の提供～

- ・ 医師会員のみが利用できる阪神南北医療圏域における各医療機関の医療機能情報の電子データ版。
- ・ 阪神間の病診連携、病病連携、診診連携の活性化に役立っています。特に二次救急病院や三次救急病院は、同システムを利用し地域の医療機関に積極的に逆紹介し、慢性的な満床状態を解消し上記の二次救急システムとあわせて活用し、阪神間の救急医療体制の強化を目指します。

③ 医療機関機能情報システム

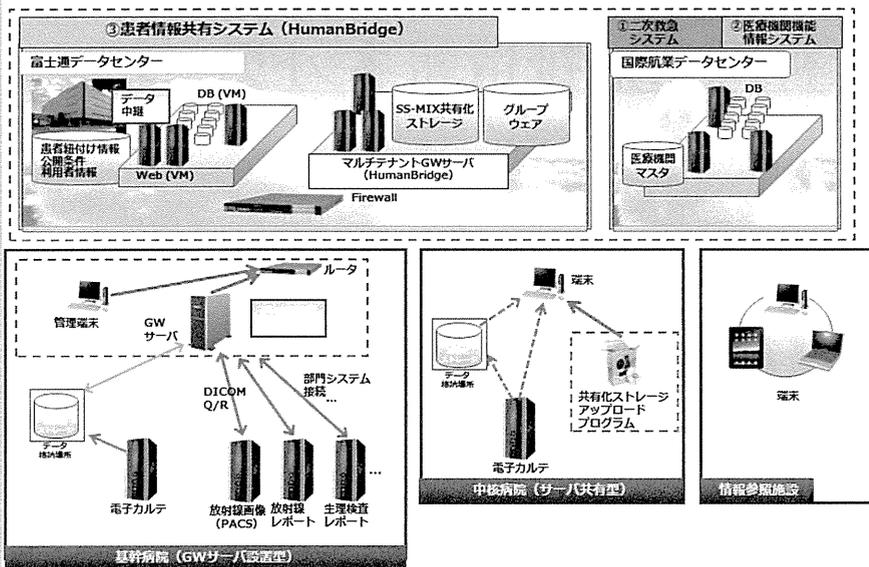
～逆紹介のための医療機関機能情報の提供～

- ・ 同システムを活用する事により、応需情報や空床情報等の情報をリアルタイムに更新、参照することができ、全国平均を大きく上回っている阪神南北医療圏における、重症傷病者の紹介回数4回以上を占める割合の減少、及び阪神間の二次救急輪番体制の強化を目指します。

その他 ～利便性と使用頻度の高い会員向けアプリの開発～

- ・ さらにグループウェア機能、文書共有機能等により、阪神間や各医師会内での情報共有が行えます。

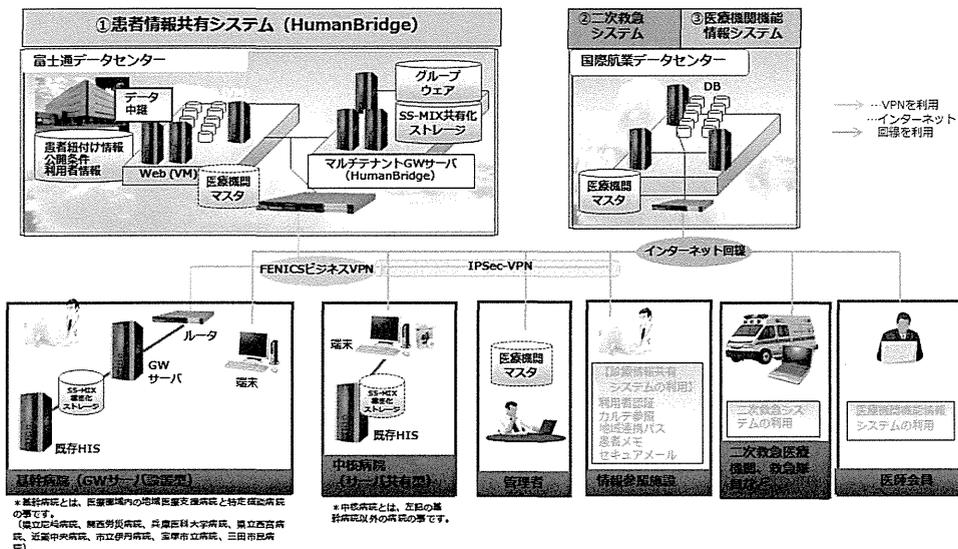
ハードウェア等



システムの全体概要

システム構成

①二次救急システムおよび②医療機関機能情報システムについては国際航業社製の「Mefis」を、また③患者情報共有システムについては富士通製の「HumanBridge」を、それぞれデータセンターを利用するシステム構成、



7

① 患者情報共有システム ～地域医療連携における患者情報の共有～

機能分化した医療機関同士が連携し地域完結型医療を行えるシステム

- ◆ 紹介患者のCT・MRI等の画像データ、入院中の患者サマリー、などの診療内容を共有することにより、病病・病診連携をスムーズかつ活発化し紹介率・逆紹介率のUPが可能。
- ◆ 他の地域のシステムと異なり、本システムでは、病院だけでなく診療所からも情報を提供することも可能。

兵庫県の「がんの地域連携パス」をはじめとした各種地域連携パスに対応

- ◆ 各種地域連携パス、及び在宅医療の連携（電子連絡帳）を行えるシステム。
- ◆ 産科医不足を補うため、婦人科医で正常分娩妊婦の母子健康管理を行い、分娩時には基幹病院・中核病院等において分娩する周産期のセミオープンシステム等が可能。

その他、医療機関連携を促進するための各種機能

- ◆ 患者紹介（診療予約）機能を利用し、リアルタイムに病院側の予約状況が確認でき、予約の取得が可能。
- ◆ 各医師会オリジナルの機能も作成可能。（グループウェア、文書共有、スケジュール、etc）

8

地域医療連携とは

地域医療連携の定義

定義

2次医療圏などの圏域において、地域中核病院、小規模病院、診療所などの複数の医療施設が、患者の同意のもとに診療情報を共有・相互参照し、患者に対して地域で連携して継続的に実施するためのつながり。

地域医療 情報連携

電子化された診療情報を情報ネットワーク上で共有・参照している場合、その仕組みを地域医療情報連携あるいは地域医療情報ネットワークとよぶ

はんしん h-Anshin むこねっと

情報共有システムの概要

11

阪神医療福祉情報ネットワーク

ご存知ですか？
h-Anshin むこねっと

ICT連携

ICTを活用し、病院・診療所の間で検査結果などが共有でき、かかりつけ医と専門医たちが連携してあなたの治療を行います。

連携エリア
三田市 西宮市 川西市 伊丹市 豊中市 東灘区 西淀川区 東淀川区 東灘区 西灘区 東灘区 西灘区 東灘区 西灘区 東灘区 西灘区

医療エリア全体で順次運用を開始しております。

「h-Anshin むこねっと」説明書

「h-Anshin むこねっと」は、ICTを活用して複数の医療機関を接続して診療情報を共有し、地域全体で協働に取り組むシステムです。

「h-Anshin むこねっと」を構築して、患者さまの診療情報を複数の医療機関で共有できるようにするかどうかは、患者さま一人一人の自由な意思によります。このシステムについてご自宅から医師を呼び、診断、治療、処方箋発行等に納得された方にこの利用をいただいています。もし、納得できなかった場合や途中で利用を中止された場合でも、その後の診療に何ら不利な影響を及ぼすことはありません。

- システムの概要
このシステムは、患者さまのプライバシーを厳正に保護しながら、医療機関間ネットワークで結び、診療情報が共有されます。検査・検査結果、診断・検査結果などから得られた多くのデータをもとに診療情報を結び、良くなるための診療の提供を可能にすることを目的としています。
- システム利用のメリット
このシステムに導入する医療機関は、処方箋や検査結果が即時に処方箋や検査結果の届出ができ、検査データの診療情報共有が可能となります。病の診断・安心な診療を患者さまに提供することができます。また、他の医療機関においても、地域の中心となる医療機関と連携が図られるため、より効率的な診療の手助けとして有効に活用できます。
- 個人情報保護の安全管理
このシステムでは、患者さまの診療情報を守るために次のような対策を講じています。
(1) このシステムで診療情報を共有することができるのは、原則としてあなたと関係が深い医師に限定されます。ただし、生命・身体を危険にさらす場合に診療を共有する必要があると医師が判断すれば、患者さまの同意が得られずとも診療情報を共有を行う場合があります。また、処方箋記載情報の開示により診療情報を開示しない場合もあります。
(2) 外部からの不正な侵入に対して常に監視を厳格に行っています。
- 利用の同意を撤回したいとき
このシステムの利用を取りやめる場合は、医師が診療情報の提供によりいつでも中止することができます。

なお、この説明書は「読了する医師向け」に作成していただくため、その内容について、医師が確認していただく必要があります。

当院は、医療の質と安全性の確保のために「医療情報ネットワーク協議会（事務局）」が運営している「h-Anshin むこねっと」に参加しています。
上記の同意をよく読んだ上で、システム利用に賛成いただけると思います。

お申し込み先： (医療機関名)
 (施設番号)

医療情報ネットワーク協議会 むこねっと事務局
電話番号 06-6422-6510

診療情報共有のための同意書 (h-Anshin むこねっと)

この同意書は と当院との間で

あなたの診療内容が h-Anshin むこねっと を利用して双方の医療機関で共有する(共有)することができるとなるための同意書としてご同意ください。

同意いただくことで、双方の医療機関で治療の連携がより、あなたの治療に役立てることがあります。同意書の内容は、当院及び相手の医療従事者以外には共有されません。

同意書の内容は、同意後いつでも変更可能な診療情報共有となります。

共有できない診療情報がある場合は「記入しない」欄にチェックが入ります。

※同意はいつでも撤回することができます。

患者さんご記入欄

●別紙同意書の1～4の項目を十分理解した上で、私の検査結果や治療の内容をネットワーク上で共有することに 同意します。 同意しません。

同意の日付: 平成 年 月 日

名前: (本人が署名してください) 性別: 男・女 (○印を付けてください)

生年月日: 年 月 日 年齢: 歳

住所: 本人が署名できない場合は代理人の方の名前 性別: 男・女

氏名を希望しない診療科: ない ある ()

同意書が送られる医療機関

平成 年 月 日 病院に送ります。

医療機関住所 (〒) 氏名の診療科を併記してください。

医療機関名 (名称) 山本医院

医師名 (名称) 山本 一 郎

紹介状等の指導等(自院のカルテ番号) XXXXX

[情報共有同意 同意欄]		[共有できない診療科]	
同意	不同意	同意	不同意
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

診療情報共有のための同意書 (h-Anshin むこねっと)

この同意書は **むこねっと病院** と当院との間で

あなたの診療内容が h-Anshin むこねっと を利用して双方の医療機関で共有する(共有)することができるとなるための同意書としてご同意ください。

同意いただくことで、双方の医療機関で治療の連携がより、あなたの治療に役立てることがあります。同意書の内容は、当院及び相手の医療従事者以外には共有されません。

同意書の内容は、同意後いつでも変更可能な診療情報共有となります。

共有できない診療情報がある場合は「記入しない」欄にチェックが入ります。

※同意はいつでも撤回することができます。

患者さんご記入欄

●別紙同意書の1～4の項目を十分理解した上で、私の検査結果や治療の内容をネットワーク上で共有することに 同意します。 同意しません。

同意の日付: 平成 年 月 日

名前: (本人が署名してください) 性別: 男・女 (○印を付けてください)

生年月日: 年 月 日 年齢: 歳

住所: 名時市〇〇町△丁目XXX番V号

本人が署名できない場合は代理人の方の名前 性別: 男・女

氏名を希望しない診療科: ない ある ()

同意書が送られる医療機関

平成 年 月 日 病院に送ります。

医療機関住所 (〒) 名時市南東町4-4-7

医療機関名 (名称) 山本医院

医師名 (名称) 山本 一 郎

紹介状等の指導等(自院のカルテ番号) XXXXX

[情報共有同意 同意欄]		[共有できない診療科]	
同意	不同意	同意	不同意
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

阪神医療福祉情報ネットワークはよりよい医療サービスの実現に向けて開発・運用に取り組んでいます

**こんなことは
ありませんか？**

専門病院での診療内容・検査結果が
かかりつけ医にも知ってほしい。

入院中の治療内容を退院後
かかりつけ医に、うまく説明できるか不安。

病気ごとに複数の医療機関にかかっ
ているが、同じ検査や投薬をされること
がある。

かかりつけ医を持っていないので、
退院後に通院できる自宅近くの
専門医を紹介してほしい。

**「h-Anshin むこねっと」に
同意いただくだけで
病院・診療所をつなぐ
ネットワークシステムを利用し
スムーズな診療が受けられます**

「h-Anshin むこねっと」の誕生

「h-Anshin むこねっと」は、阪神南北医療圏域の7市の医師会代表者、看護協会、県立病院、民間病院協会、学識経験者などで構成され、ICTを活用し、よりよい地域医療の実現に取り組んでいます。

[h-Anshin むこねっと]連携エリア

尼崎市	川西市	西宮市
芦屋市	三田市	猪名川町
伊丹市	宝塚市	

医療IT化ワーキング会議

- 医師会
- 県立病院・民間病院協会
- 看護協会
- 学識経験者

誕生



むこねっと

むこねっと **検索**

http://www.mukonet.org

むこねっと事務局

TEL.06-6422-6510

阪神医療福祉情報ネットワーク h-Anshin むこねっと

ご存知ですか？



ICTを活用し、病院、診療所の間で
検査結果などが共有でき、
かかりつけ医と専門医たちが連携して
あなたの治療を行います。

※患者さんの同意を前提としています。

「h-Anshinむこねっと」ご利用のメリット

「h-Anshinむこねっと」は、ICTを活用して複数の医療機関を接続し、診療情報を共有して地域全体で診療に取り組むシステムです。治療歴の情報や検査データの共有が可能となり、各医療機関が専門性をいかした診療を行えるので、安心で質の高い地域医療が受けられます。

同意書の作成にご協力ください

「h-Anshinむこねっと」の利用は、患者さんの自由な意志によります。主治医の説明を受け、同意書にサインをいただき、ご参加ください。

連携エリア

7市1町、約1500の医療機関をつなぐネットワークシステム



各医療機関が連携して、地域のみなさんの医療を支えます。



公開された診療情報を参照することで、診療に役立てます。

ICT連携

基幹病院

中核病院

情報の公開を行う医療機関が、同意した患者情報を開示します。
● 名字 ● 性別 ● 年齢 ● 画像 などの情報

むこねっと Q&A

- Q 参加するにはどうしたらいいですか？
A 「h-Anshinむこねっと」に参加している医療機関で、システムの説明を受け、同意書にサインするだけで参加いただけるようになります。
- Q 一度同意したら、全ての病院で情報公開されるのですか？
A いいえ。情報が共有されるのは、患者さんが同意された医療機関のみとなりますのでご安心ください。
- Q 同意したらずっと公開されるのですか？
A 同意いただいた後でも、途中で参加を中止できます。中止の申請をいただければ、患者さんの情報を停止します。
- Q 参加するのに料金はかかりますか？
A 参加するのに、料金は不要です。

診療情報共有のための同意書 (h-Anshin むこねっと)
撤回届

(同意書取得後に必要書類に添付して患者さんへお届ください)

私は下記の _____ から説明を受け、 _____ 病院において診療情報
相互連携ネットワークに同意申請して受けましたが、同意について撤回します。

<かかりつけ施設名称> (同意書取得時に記載してください)

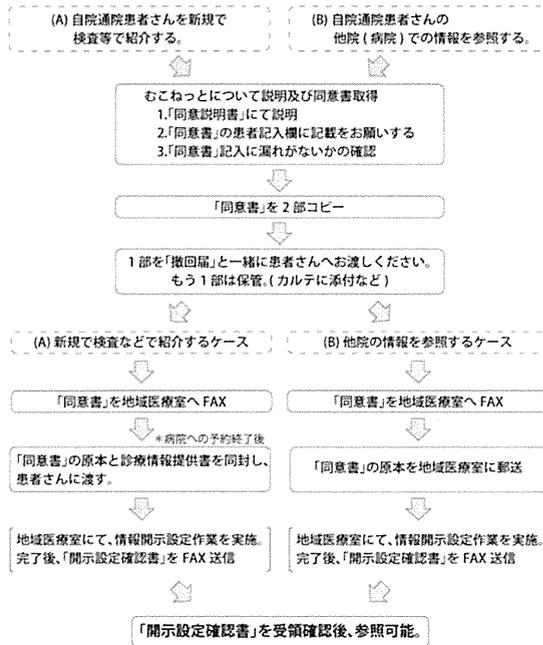
かかりつけ 氏名 _____ 電話番号 _____
医療機関名・住所 (スタンプ可)

<患者情報> (同意を撤回する際に記載してください)

日付 年 月 日
氏名 (本人が署名してください)
性別 _____ 性別 _____ (○印もしてください)
生年月日 _____ 年 月 日
住所 _____
本人が書けない場合は代理人の方の署名 _____ 氏名 _____
撤回の理由 _____

<同意書撤回の提出は、かかりつけもしくは下記 むこねっと事務局 までお願いいたします>
医療法人社団 京都ネットワーク協議会 むこねっと事務局
TEL: 09-9422-8510
FAX: 09-9422-8512

同意取得から情報参照までの流れ



情報連携サービス

